

逸見・中央地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのよりよい教育環境のために～

Vol. 2 発行 横須賀市教育委員会 2025.8



令和7年7月14日に開催した第2回の協議会において、逸見・中央地域について事務局から次のような説明を行い、ご意見を伺いましたので、その内容をお知らせします。

1 第1回協議会（令和7年4月24日開催）の整理事項

（1）長浦小学校・馬堀小学校の現状について

児童数が増え、大きな集団で活動する様子も見受けられるようになり、学校がにぎやかになって活気付いていると聞いています。

バス通学については、細かい課題はあるものの、おおむね安全に通学ができています。

（2）児童生徒・学級数推計について（令和7年5月1日・横須賀市教育委員会教育政策課作成）

①横須賀市立小中学校における児童生徒・学級数推計

学校名		R7年度 (実数)	R8年度 (推計)	R9年度 (推計)	R10年度 (推計)	R11年度 (推計)	R12年度 (推計)	R13年度 (推計)	
小学校	児童数	15,122	14,678	14,004	13,346	12,735	11,995	11,258	
	学級数	通常	553	556	537	514	494	470	443
		特支	203	203	203	203	203	203	203
中学校	児童数	8,348	8,103	7,996	7,842	7,611	7,329	6,964	
	学級数	通常	238	238	236	233	224	215	202
		特支	89	89	89	89	89	89	89

※特別支援学級の学級数は令和7年度をスライドした数字

②検討対象校（逸見小学校・沢山小学校・桜小学校・汐入小学校）

学校名		R7年度 (実数)	R8年度 (推計)	R9年度 (推計)	R10年度 (推計)	R11年度 (推計)	R12年度 (推計)	R13年度 (推計)	
逸見小	児童数	67	70	69	72	67	72	70	
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6	6
		特支	3	3	3	3	3	3	3
沢山小	児童数	82	79	68	62	57	51	48	
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2	2
桜小	児童数	243	233	213	188	176	158	146	
	学級数	通常	11	10	9	8	7	6	6
		特支	3	3	3	3	3	3	3
汐入小	児童数	84	79	66	62	63	60	56	
	学級数	通常	6	6	6	5	5	5	5
		特支	4	4	4	4	4	4	4

※特別支援学級の学級数は令和7年度をスライドした数字

※汐入小学校は令和10年度以降、法令上、複式学級が見込まれる学年があります。

(3) 中央地域小学校適正配置検討協議会の概要（平成20年度～平成22年度開催）

- ・平成20年度に汐入小学校区の小規模解消のための方策を検討し意見書を提出するため設置しました。当時は、桜小、汐入小、諏訪小、田戸小を対象とし、学区整理や統合について計8回の協議会を開催しました。
- ・方向性が見出せないまま東北地方太平洋沖地震の影響により延期し、市全体の検討を行う「横須賀市立小中学校適正配置審議会」が設置されたことにより、意見書の提出はされないまま終了しました。
- ・現在行われている協議会は、関係者から意見を聴取するために設置されていることや、小規模化がより進んでいること、学校施設に関する課題が生じてきていることなどが、前回の協議会と異なっています。

2 逸見・中央地域の教育環境整備について

(1) 逸見・中央地域における小学校の現状

逸見小学校、沢山小学校、汐入小学校は全学年で単級となっています。

桜小学校は1学年を除き2学級ですが、今後は単級となる学年が増えていく見通しです。

4校とも、児童数の大幅な増加は見込まれにくい状況です。

また、逸見小学校、沢山小学校、汐入小学校は建築後60年以上経過しており、対策の検討を始める必要がある時期に来ています。

児童数・学級数等（令和7年5月1日現在）

学校名	逸見小				沢山小				桜小				汐入小			
	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数
児童数・学級数	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1年	6	7	13(1)	1	5	9	14(1)	1	14	15	29(1)	1	6	6	12(1)	1
2年	7	0	7(1)	1	7	5	12(2)	1	21	16	37(1)	2	5	8	13(1)	1
3年	9	8	17(1)	1	5	6	11(0)	1	22	19	41(0)	2	6	8	14(3)	1
4年	5	2	7(1)	1	6	7	13(2)	1	23	20	43(2)	2	7	6	13(2)	1
5年	7	7	14(2)	1	12	7	19(2)	1	19	25	44(3)	2	8	9	17(4)	1
6年	5	4	9(1)	1	4	9	13(1)	1	24	25	49(3)	2	9	6	15(1)	1
特支	内数(7)			3	内数(8)			2	内数(10)			3	内数(12)			4
計	67			9	82			8	243			14	84			10
教員数	19人				16人				28人				18人			
プール	なし				なし				あり				なし			
建築年度	昭和31年（1956年）				昭和35年（1960年）				昭和56年（1981年） ※旧青葉小校舎				昭和38年（1963年）			
レッドゾーン	あり				あり				なし				あり			

※カッコ内は、特別支援学級の再掲

※プールがない学校においても、学校外施設等を活用し、水泳の授業は実施しています。

(2) 小規模校及び適正規模校のメリット・デメリットについて

文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」から、それぞれのメリット・デメリットを紹介しました。

小規模校には、一人一人の学習状況や理解度をきめ細かく把握しやすく、丁寧な対応が行いやすいというメリットがあります。

一方で、クラス替えができない、バランスのとれた教員配置ができなくなるなど、学校運営上の課題が生じたり、教育活動に制約が生じたりする可能性があります。

適正規模校のメリットとしては、クラス替えなどが可能となり、児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮した学級編成ができること、また児童生徒が多様な意見に触れられることなどが挙げられます。

(3) 規模及び配置の適正化の方策について

学校の規模及び配置の適正化を図り、教育環境を整備するに当たり、次のような方策が考えられますが、いずれの場合も、その後の周辺校を含めた学校規模や施設、通学距離に問題がないことと、子どもたちの生活や、地域と学校との関わりを十分に考慮に入れて検討を行います。

○通学区域の見直し ○隣接校との統合 ○特別認定校制度

3 第2回における意見の概要

- ・一番の問題は学区。4校を1校に統合すると、急勾配の通学路で、重いランドセルを背負って、長時間歩かなければならない児童が発生し、保護者、児童ともに負担になる。スクールバスがあればありがたい。
- ・地域でアンケート調査を行っている。協議会委員にアンケート内容を見ていただきたい。また、集計結果を共有し、協議したい。
(⇒委員長承認。集計結果を第3回で共有していただくよう依頼)
- ・学校施設の建て替えについては難しいと思うが、事務局はどのような認識か。
(⇒事務局回答：長寿命化計画において80年は持たせたいと考えているが、鉄筋コンクリート造は60年を超えたら建て替えや補強を考えなければならない。また、建て替えをするためには土地や建築上の制約があり、難しいと考えている。)
- ・統合に反対、賛成、条件付きで賛成など柱立てをし、それぞれについて意見を言うなど、何を話すのか整理した方が良い。
- ・仮に統合した場合のメリットやデメリット、解決すべきことを協議した方が良い。
- ・学校が無くなるのは寂しいが、社会の流れとして残していくのは難しい。子どもたちのためになる方策を考えたい。
- ・小規模校の保護者だが、現状デメリットよりもメリットを多く感じている。ただ、今後デメリットも多くなってくると思う。統合するとした場合、最大の問題は通学。
- ・それぞれの学校で小規模による学校運営上の問題や、統合するとした場合の課題などについて話し合い、それを協議会で共有しても良いのではないかと。

4 教育委員会に届いている意見の概要（第1回終了後～第2回開催まで）

No.	内容
1	今すぐにでも小学校の統合をお願いしたい。子どもの現在、将来を考えると可哀想、不登校の原因にもなる。 高齢者よりも未来を創る子どもたちのための議論をお願いしたい。 (意見者：逸見・中央地域保護者)
2	昔から伝統と言われてきたがどうでもよい、子どもたちは伝統よりも未来ある学校と言われたいと思う。 早急に統合してほしい。子どもたちが被害を被っている。 (意見者：逸見・中央地域卒業生)
3	小中学校の統合に賛成。 人数が少ない学校で過ごす子どものストレスと得られる経験の少なさは人格形成に大きく影響しており、逃げ場のない空間で人間関係に波風を立てないように自分らしさを押し殺して生活しており、気の毒であった。 子どもにとって学校の歴史はどうでもよい、子どもらしい時間を過ごせることが大事。スクールバスがあれば安心。学校と周辺環境の在り方を早急に改善してほしい。 (意見者：逸見・中央地域元保護者)
4	統廃合に反対。 コストパフォーマンスのみが問題視されていると認識しており、教育内容に不備があるとは考えない。廃校後の処分内容や確保される予算額、大人数制のメリットが不明。 廃校を議論する前に、私立小学校にするという選択肢を検討すべき。 子ども、親、住民の意見収集が不可欠である。 (意見者：詳細不明)

5 次回の開催について

- ・日時：令和7年10月23日（木） 18時30分から
 - ・場所：横須賀市立総合福祉会館 7階 第1音楽室
- ※傍聴をご希望の方は、18時20分までに直接会場へお越しください。
定員（10名）を超えた場合は抽選を行います。

～皆さまからのご意見等を受け付けています～

ご意見等がありましたら、郵送・ファクス・Eメールにてお願いいたします。

事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地
横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課
電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849
E-メール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

資料の詳細等はコチラ



※いただいたご意見、ご質問については、「sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp」から回答の返信をいたします。
セキュリティ設定や迷惑メール対策等で、メールが正しく届かないことがありますので、ドメイン「[@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp)」のメールを受信できるよう、迷惑メール設定から解除、もしくは受信設定をしていただくようお願いいたします。